

2021年3月10日

## アジア最大級の大規模データセンター建設プロジェクトへの投資 ～アフターコロナの構造変化を見据えた当社初の国内データセンター向けファイナンス～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、千葉県印西市における大規模データセンター建設プロジェクトへ 35 億円融資することを決定しましたので、お知らせいたします。なお、国内データセンター向けのプロジェクトファイナンスは、当社初の取組みとなります。

本プロジェクト(AirTrunk TOK1)は、敷地面積約 13 万㎡(東京ドーム約3個分相当)の土地に 7 棟の施設が建設され、最大供給電力は 300MW を見込む、中国を除いたアジア太平洋地域最大規模のデータセンター建設プロジェクトです。建設地は、震災リスクの低い強固な地盤として多くのデータセンターが集積する千葉県印西市の千葉ニュータウン内に立地しており、竣工後には世界有数のクラウド事業者などがテナントとして入居予定です。

近年、ICT の技術革新や通信規格の高度化などを踏まえた、クラウドサービスの需要拡大、AI・ビッグデータ・IoT 用途のサービス拡大を背景として、大量のデータの処理・蓄積等を可能とする通信インフラネットワーク、特にデータセンターへの需要は高まっており、国内データセンターサービス市場は年9%以上の高い成長率が維持されると見込まれています<sup>1</sup>。また、新型コロナウイルス感染症拡大を受けたテレワークの浸透など、ウィズコロナ/アフターコロナにおけるデジタルトランスフォーメーション推進のための基盤としての需要増大も、今後の市場成長を後押しすると考えられます。

市場成長が見込まれる国内外データセンター向けのプロジェクトファイナンスへの参画を通じて、当社は安定的かつ高い収益を期待できると考えております。当社は引き続き、低金利環境下における収益力向上に向けて、運用手法の高度化・多様化による資産運用の高度化に積極的に取り組んでいきます。

### 【データセンター全体イメージ】



出所: AirTrunk

<sup>1</sup> IDC Japan 株式会社国内データセンターサービス市場予測における 2019～2024 年の年間平均成長率。

【本件プロジェクトの概要】

プロジェクト内容	千葉県印西市におけるハイパースケールデータセンター「AirTrunk TOK1」の建設
事業者	AirTrunk Japan 合同会社